

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 2020年 3月 31日

事業所名：ピタゴラ未来塾垂水

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	とても広い。 死角がなく使いやすい。	「はい」(出来ている)の評価8割	どのプログラムにおいても適切なスペースを確保し療育を行っていく。
	2 職員の適切な配置	適切な人数で対応できている。	「はい」(出来ている)の評価7割	手厚い人員配置を確保していくとともにスキルアップに努めていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	靴を脱ぐ、上着をハンガーにかける、ロッカーにカバンを入れる、手洗いなどが子供にわかりやすい構造になっている。クールダウンスペースも確保できている。	「はい」(出来ている)の評価7割 何をやる場所かわかりやすい構造になっている。	今後も適切な空間を維持していく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃し、清潔に保つように努力している。	「はい」(出来ている)の評価7割	今後も適切な生活空間を維持していく
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員間で常に話をして目標設定が適切かを振り返り、改善点の確認をしている。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	神戸市巡回訪問の方にお越しいただきプログラムの内容など客観的に見て改善点などをお聞きしている。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	必要な内部研修を実施している。外部で実施される研修に毎月参加している。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	職員間でのアセスメントの聞き取りを重視して保護者のニーズを把握に努めている。利用者の分析を行い、支援計画を立てている。	「はい」(出来ている)の評価9割	今後も適切なアセスメント実施や保護者面接の実施により、ニーズ・課題の分析を行い、個別支援計画の作成・更新を行っていく
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子供の状況については職員からのモニタリングにより常に現状を把握し適宜、適切な支援を提供出来るように計画を策定している。	「はい」(出来ている)の評価9割 しっかりと子供の様子を観察して、その時々に必要な支援をしてくれる。	引き続き、ニーズ・課題に応じた個別・集団プログラムの実施・計画の作成を行っていく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画に記載している。	「はい」(出来ている)の評価9割 その日の支援内容を聞くので、内容がわかり安心出来る	今後も適切な支援項目・支援内容を記載した個別支援計画を作成していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画を作った際にミーティングを通じ職員に内容を説明し、支援に反映させている。	「はい」(出来ている)の評価9割	サービス提供記録に支援目標を記載するなど、常に職員にも当該児童の目標を意識して支援できるよう周知していく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	スタッフ全員で活動プログラムの立案をしている。		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇や休日は平日に行えない思考をこらしたイベント等を実施している。また、利用者のニーズを考慮したサービスじかんを提供するなど、工夫している。		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節感があるように設定している。またその日の利用児童によっても変えている。	「はい」(出来ている)の評価9割	過去の支援内容の検証、新たなプログラムの創設等を利用者のニーズ・課題に即し実施していく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝のミーティングで必ず、確認している。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	終礼の時に必ず振り返りを行い、送迎時に保護者から聞いた事などの情報も共有している。		
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	利用日には必ず記録を取っている。事実を客観的に記述し、サービスが適切だったかを話し合っている。		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6か月に一度実施している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	実施なし		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保育所・幼稚園・小学校と児童特性・支援内容等の情報共有を行っている。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	実施なし。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修があれば受講している。		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	幼稚園との連携を図っている。		引き続き適切に実施していく
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施なし。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時、支援計画の更新の面談時、質問があった時など必要に応じて丁寧に説明している。	「はい」(出来ている)の評価10割	引き続き適切に実施していく
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	契約時、支援計画の更新の面談時、質問があった時など必要に応じて丁寧に説明している。	「はい」(出来ている)の評価10割	引き続き適切に実施していく
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者の対応力の向上のために気づいたことは話しているがペアレントトレーニングとのネーミングでは行っていない。	「はい」(出来ている)の評価5割	今後要望があれば実施を検討する
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎回、帰りの送迎時に保護者に本日の様子を伝え、共通理解を深めるなど、日頃からコミュニケーションを取るようにしている。	「はい」(出来ている)の評価10割	引き続き丁寧に振り返りを伝え、日頃からの保護者との共通理解に努める
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの相談に適切にアドバイスできることを目指し、情報収集し研鑽を積んでいる。	「はい」(出来ている)の評価9割	引き続き保護者からの相談の要望があるときには、定期的な面談の機会に限らず、個人面談等提案、実施していく
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施なし。		必要であれば実施を検討する
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	実施している。	「はい」(出来ている)の評価7割	引き続き適切に実施していくと共に、あらためて対応窓口の周知を行う
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	適宜、終礼などで職員に指導している。	「はい」(出来ている)の評価8割	引き続き適切に実施していく
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	実施している。スケジュール、「ピタゴラからのお知らせ」などを発信。	「はい」(出来ている)の評価7割	現在のところ当月の行事予定のみ、お知らせの形で発信しているが、今後定期的な会報等の発行も検討する
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報カギのある書庫に保管している。書類の管理はしっかりと出来ている。	「はい」(出来ている)の評価8割	引き続き適切に実施していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	周知できている。	「はい」(出来ている)の評価8割	随時、現状に即した各種マニュアルの見直しを行っていく。気象警報発令時のサービスの有無・対応についても明確な指針を作成し保護者への周知をしている。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回、防災訓練を行っている。	「はい」(出来ている)の評価8割	今後、引き続き訓練の定期実施を行うと共に、職員全員を対象に応急手当の講習会・緊急対応の研修の参加・実施を行う。また、実施したことを保護者等に周知していく
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年に一度、虐待防止研修を行っている。		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当者なし		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	該当者なし		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を作成し、内容を検証するなど、職員間で再発防止に向け周知徹底を行っている。		